

令和6年度 第2号 令和6年11月

学校運営協議会&地域学校協働活動だより

南関町教育委員会

第2回合同会の内容等のお知らせ

令和6年度 第2回南関町学校運営協議会全体会及び
第2回南関町地域学校協働活動運営委員会合同会

日時 令和6年 10月29日(火)

午後 14時30分~16時30分



会長（永杉教育長）挨拶



本日は、ご多用な中、学校運営協議会委員の皆様と地域学校協働活動運営委員会・関係者の皆様方にお集まり頂き感謝申し上げます。また、山平県統括アドバイザーをお迎えしていろいろとアドバイスをいただきます。よろしくお願いいたします。

さて、小・中学校では、10月半ばから後期に入り、令和6年度も折り返しに入りました。6月10日の第1回合同会議から約半年が経過し、各学校ではActionPlanに基づき、学校の特色を生かして地域の皆様と連携した具体的な実践活動に取り組んで頂いています。

特に、昨年度から学校運営協議会に児童生徒が参加して課題解決等に向けて、委員の皆様方と一緒に熟議を工夫される学校が出てきました。これまでの取組を更に前進させる新しい取組(五者連携)が進められており、有難く思っています。子どもたちの自治能力を高めるうえで、とても有効な活動だと私自身捉えております。これから、それぞれの学校で取り組みの成果が少しずつ表れてくるのではと期待しているところです。

また、夏休み中の美化作業では、町内全校で地域の方々のお力添えを頂いたり、老人会・婦人会・PTAが連携してラジオ体操を行い交流を深めたりするなど地域の方々のお支えで、学校環境の整備、子どもたちの健全育成が図られています。更に、故郷南関を知る「総合的な学習の時間」での体験的な学び(特色)の充実が地域の方々のご理解とご協力によって図られています。

メジャーリーグの大谷翔平選手は、18歳の時に書いた人生設計ノートに「58歳で岩手に帰る」という思いを綴っているという記事を目にしました。私たちの取り組みが、「南関町を大切に思い、町づくりに積極的に関わる」児童生徒の育成につながっていくことを願っています。



第2回合同会 記 録

南関町立南関第一小学校（田上梓）

Action Plan ・ 協議の柱Bの具体的実践事項

< 学力向上部 >

- キャリア教育とは→一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育であり、一人一人の児童を見つめ取り組んでいる。
- 体験活動は、総合的な学習の時間で稲作体験をするなど、各学年の教科等で取り組んでいる。

↓

- ・決まったことをするのではなく、自発的に児童ができるようなことを体験させる。
- ・演劇の講師に「劇」の体験をお願いしたい。
- ・北原白秋の演劇を6年間に分けてやりたい。（台本はできている）
- ・続けていくことが大事である。

< 心づくり部 >

- すもう・ぎおんさん・関所まつりなどの行事への参加は増えつつあるが、教職員の土日祝日への地域行事参加は厳しいので、地域の受け入れ態勢を確立する必要がある。
- 構成詩や絵画の指導ができる方と一緒に卒業時の構成詩や卒業記念となる絵画などにみんなで取り組み後世に残したい。
- 一小のシンボルである樹齢200年の「むくの木」の歴史等を調べ、大切にしていきたい。

< 体づくり部 >

- Alifeさんに協力いただきスポーツチームをつくりたい。
- 体力向上のため運動場の整備をしたい。
- 給食の配膳を待つ時間にダンスをしている。
- 持久走の時に楽しめるしかけをして、苦手意識をなくすのはどうか。
- 放課後の過ごし方を、スマホに依存せず運動ができるようにしたい。

< 環境充実部 >

- こども110番の家を見直し、ステッカーなどを貼り変えたい。
- 登校時スクールゾーンに時間を考えずに侵入してくる車がある。
- 散歩などをしておられるシルバーの方などにベストを着用していただき、見守りたいを結成していただくと助かる。
- 運動場の草取りに、児童が委員会や学年ごとに取り組んだこともある。

第2回合同会 記 録

南関町立南関第二小学校（小竹和美）

Action Plan ・ 協議の柱Bの具体的実践事項

<学力向上部>

- 学校と地域の連携がとれていてすばらしい。
- 今年5回目となった秋祭りについて
 - ・来年度から6年生を企画から運営にも参加させることを検討している。
 - ・今年度は昔遊びコーナーを設置し、地域ボランティアの方々との交流ができた。
 - ・ご協力いただいている民生委員や婦人会の方々から、今後もお手伝いをしたいとの声がある。
- 町内のイベントへの参加をもっと呼びかけたい。
- コロナ以前に行っていた祖父母学級（昔遊び・製作・郷土料理作り）を今後復活させたい。

<心づくり部>

- 子どもたちは、あいさつもしっかりできておりとても可愛い。
- 保護者も子どものもっと繋がりを大切にし、協力しあっていききたい。
- 地域の行事の運営側のお手伝いとして、子どもたちもどんどん参加してほしい。
例えば…2年前の関所まつりのときには、みどりの少年団活動としてゴミ拾いをで実施した。
- 4年生以上は、ホタル音頭の継承に取り組んだことがあるので運動会等で披露してはどうか。
- 盆踊りの復活を願う意見もある。
- 新聞投稿の未掲載分を学校で掲示することはできないか。→学校で検討する。

<体づくり部>

- 運動会のアンケート結果報告
 - ・各小学校で開催日をずらすことはできないのか？→厳しい（教育課）
 - ・児童数等の実態に応じて、競技時間や昼食をどうするかなどの選択を学校単位で決めたい。（以前は町全体での運動会を実施していたが、今は校区ごとに地域と学校が一体となった運動会に変わってきている。ただ、コロナ化により地域からの参加競技をこの数年間はひかえてきたので、また本来の地域と学校が一体となった運動会になっていくのが町としての動きである。）
- 持久走大会前は、登校後に5分間走を実施している。
- 今年度実施の夏休みラジオ体操（婦人会・老人会・子ども会）をもっと広めたい。
- 小学校での部活動がなくなった今、日常的に運動をする環境をA-lifeさん等の協力を得て作ってほしい。

<環境充実部>

- 資源回収について
 - ・児童減少によりPTAでの回収が困難なのであれば、区長に相談して地域で協力します。
↓
PTA役員会で協議し今後お願いしたい。
 - ・高齢者の一人暮らしの方々への対応をどうにかしたい。
- 古くなったのぼり旗の交換をスムーズにできる環境に整備したい。
- 防犯灯の設置や通行の妨げとなっている竹等の撤去等については、区長さんから役場へ申請してもらえるので今後対応をお願いします。
- イノシシに遭遇した際の対処法を今後周知させたい。（発見した際は役場に連絡する。）
 - ・刺激しない ・静かにその場を離れる ・ゆっくりと後ずさり。
 - してはいけない行動
 - ・猪の進行方向をふさぐ ・大きな声を出す ・急に動く ・棒を振り上げたり石などを投げる

第2回合同会 記 録

南関町立南関第三小学校（荒牧典子）

Action Plan ・協議の柱Bの具体的実践事項

<学力向上部>

○学校の取組み

- ・授業改善→タブレットを使用したり、話し合いの力がつくように子供たち主体で話し合う時間を取ったりしている
- ・6年生は、eライブラリーで問題を解くなど学習スキルを向上させている。
- ・スカイメニューの思考ツールを使って自分の考えを児童同士教えあっている。
- ・タブレットなどをしっかり活用し社会に取り残されないよう強く生きていける子供達にしたい。

○子供たち→CMを作り三小のYouTubeに載せたい。

○学校より保護者へ

- ・子供のタブレットを見てどんなことをしているのか、どのくらいeライブラリーを使用しているのかを知ってほしい。
- ・社会に出て自分の意見を発表できるような児童に成長してほしい。

<心づくり部>

○学年ごとの地域交流

- ・1年→地域の方と交流 ・2年→野菜作り ・3年→サロン交流
- ・4年→福祉体験 ・5年→稲作体験 ・6年→南関あげ巻き作り（予定）

○あいさつについて

- ・6年生からしていこうを合言葉に企画委員があいさつ運動を実施している。

○稲作体験について

- ・お米コンクールに出品（出品費用を町の予算で出してもらえないのかとの意見があった。）

○その他

- ・学校応援団への依頼を増やし地域交流を積極的に行いたい。
- ・保護者の授業への参加がもっとあっていいのではないか。（お知らせも早めにしてほしい）
- ・平和集会を行って子供たちに自信がついた。
- ・外国の人に平和集会を見てもらい褒められたことで、言葉が通じなくても伝わるかもしれないと感じたという児童がいた。

<体づくり部>

○体育委員の取組み

- ・三小は体が硬い児童が多いので体操大会(柔軟体操)を行う。→体が硬いと自覚する児童もいる。

○涼くなったので全学年で外遊びを行いたい。

○冬は持久走に向けて練習をする。

○町のスポーツイベントへの参加を低学年のうちから呼びかけると高学年になっても継続されるのではないか。

○A-lifeのスポーツDAYは、楽しくスポーツをするきっかけになる。

<環境充実部>

○美化作業について

- ・人が足りていないのではないか。
- ・PTAでの見回り、終了していない所の確認、地域の方への呼びかけ等を行う。
- ・保護者の参加を家庭で一人と限定しない。
- ・ラジオ体操と同じ日だと変更ができない。
- ・8月は暑いのもう少し涼しい時期にずらすことはできないか。
- ・草刈りや木の伐採が得意な地域の方の助けが必要ではないか。
- ・高所の作業ができていない。

第2回合同会 記 録

南関町立南関第四小学校（田中亜矢）

Action Plan ・ 協議の柱Bの具体的実践事項

< 学力向上部 >

- キャリア教育（大人像の学びや将来に結ぶ成長の教育）
 - ・ 地域などの協力があり学校としてはありがたい。
 - ・ 6年が総合的な学習の時間で四小校区の歴史を学び発表を予定している。→地域愛の育成
 - ・ キャリアパスポートの活用（小～中の9年間の成長の記録）→体験をする事で自分を見つめ直す
- 児童の運営協議会への参加について
 - ・ 区長会が開かれる前に学校からの要望を伝えておく地域への周知につながる。
 - ・ 6年生のお礼の会へ、より多くの地域の方を招待したい
- 図書司書より
 - ・ 10月の読書月間に先生方からのおすすめの本のポップや本に親しめる工夫がたくさんあった。
- 読み聞かせ
 - ・ 高学年による低学年への読み聞かせができないものか。→情操教育につながる

< 心づくり部 >

- 秋祭り実行委員会より
 - ・ 来賓への対応についてどのようにするのか、ゲームの内容やプログラムなどわかりにくかったなどの意見あり→実行委員会へ伝え次年度の運営へ活かす
 - ・ カレー作り、ポップコーンなど児童を楽しませるだけでなく主催者の立場で司会や活動を体験させることができた。
 - ・ 授業参観をさせていただくと、児童が授業の途中でもあいさつしてくれる。学習を中断させるのが非常に申し訳ないが、とても元気よくあいさつしてくれるのでとても気持ちよく、地域の方との交流の機会の多さを感じた。

< 体づくり部 >

- 夏休みのプール開放について
 - ・ 町内唯一の開放となったが、AED研修への参加も多くしっかり監視することができた。
- InBodyの活用について
 - ・ A-lifeから、評価に応じたおすすめの内容等の助言をしてほしい。
 - ・ 栄養士から、InBodyを活用した食事メニューの提供をお願いしたい。
- インフルエンザの予防接種の助成拡充をお願いしたい。

< 環境充実部 >

- 美化作業
 - ・ 四小応援団登録者と地域協力者の中から「美化部(部長：四小学校運営協議会委員長 清田政勝)」を結成し、企業にもお願いに出向き、数社から協力を得ることができた。
- 通学路について
 - ・ 声を上げて数十年経つが通学路の整備が進まない。
 - ・ 町整懇談会で南町民センターから四小まで通学路の実態を伝えるた。
 - ・ 整備されている部分も草刈りができていない。
 - ・ 県道や町道の防犯灯や街灯を管理しているのは、県や町・区であり、設置費や電気代があるため設置がなかなか進まない。
 - ・ 横断旗の劣化への対応や新規設置が望まれる場所がある。

↓
劣化旗は学校にある予備と交換（新規設置は安全協会に確認）

第2回合同会 記 録

南関町立南関中学校（加藤美智子）

Action Plan ・ 協議の柱Bの具体的実践事項

< 学力向上部 >

○人材バンクに関して

- ・ 学校からの要望は、地域連携担当教職員や地域学校協働活動推進員が対応する。
- ・ 地域学校協働本部への依頼は、学校の地域学校協働活動推進員が対応する。
- ・ 地域から学校への依頼は、基本的に校長先生が窓口である。

〈例〉小原地区のかぐらについて学校へ依頼、授業の途中で抜け地元の生徒が参加できないか。

- ・ 授業の一環として授業中での活動と捉えるのか、休日の参加と捉えるのか



休日とは捉えず、総合的な学習の時間の活動と考えている。

- ・ 休日に生徒が参加する場合も、移動手段や交通安全等に気をかける必要がある。

○今後の課題

- ・ 三年生の地域貢献活動（校外での分散活動）は、学年の先生が少ないので次年度は地域の力も借りたい。
- ・ 以前は地域で多くの行事が開催されていたが、少子高齢化により行事が減少していることにより先輩の姿をみて育つ機会が減っている。
- ・ 生徒は地域活動に参加することなどでかなり成長しているので、できるだけ参加をさせたい。

< 心づくり部 >

○キーワードは”あいさつ”

- ・ 現在、先語後礼を実践中である。
- ・ 地域の方から、地域の中ではあいさつがよくできているとお話があった。
- ・ 家庭内でのあいさつは、できているのだろうか。
- ・ 返事ありなしに関わらず、まずは大人から積極的に声掛けをしましょう。
- ・ 学校ではたくさんの生徒があいさつをしているのでハードルが低いですが、地域の中であいさつをすることは少しハードルが高いのだろうか。

< 体づくり部 >

○「体力向上は学校で」、「食事・睡眠の向上は家庭で！！」をしっかりと呼びかける。

○家庭での体力向上の取組として、防災無線にあわせて親子でラジオ体操をすれば、早起きや朝食の摂取等にも効果がある。

○食べるのが一番大切！！（家庭において一番大切にしたい）

- ・ 食べること、作ることを大切にしたい。
- ・ 学校では今年度、外食作りにチャレンジした
- ・ 朝食動画第2弾の製作への要望がある。（野菜、南関あげを使った料理はどうか？）

○質の良い睡眠を！！

- ・ 8時間の睡眠をとることを目標に家庭でも取り組んでほしい。

< 環境充実部 >

○街灯設置について

- ・ 教育課に相談したが補助申請が複雑とのことだった。
- ・ P T Aにできることとして生徒の帰宅時間を区長さんに伝え、通学路沿いの部屋の灯りをつけてもらうことはどうか。
- ・ 複雑な街灯設置の申請をどうすればいいのか地域の方の助言もいただきたい。



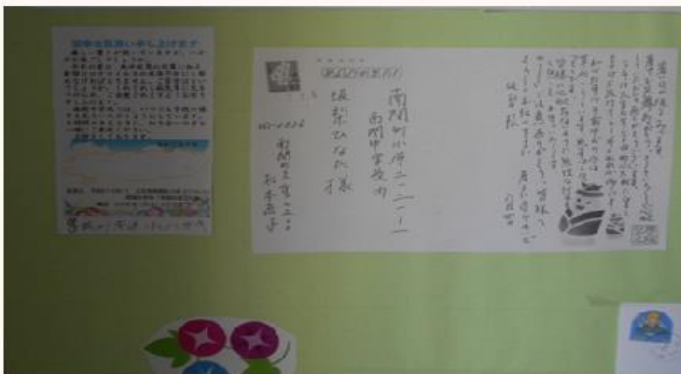
いろいろな組織（区長さん・町議さん等）にお願いしに行く。

ま と め

熊本県統括アドバイザー 山平 敏夫 氏

南関町では地域の多くの方々が学校や子どもたちに関わっておられ、県下でも一番という結果がある。このことは、子どもたちが育つ環境が確保されてきたということである。

高齢者へのハガキと返事（中学生）



今年は大変な年ですね。雨は大雨になるし、コロナは大流行するし、外に出れば怖いです。

（中略）

優しい注意ありがとう。
皆様へよろしくお伝えください。
（高齢者から）

くさん知り、自分が住んでいる地域はこんなに素晴らしいものや素晴らしい人がいることを知ってほしい。地域貢献活動を通して地域の人たちを大切にし、南関を好きになることも大切であるが、南関の子どもたちはとてもよく育っている。

医療従事者への励ましと子供たちへのお礼（小学生）



南関第一小学校のみなさん
ごんには だんだんとあつい日が多くなり、夏が近くになってきたなあと感じる毎日ですね
ニュースをテレビで見た人も多かったと思いますが、みなさんからの応援メッセージを頂けていただいた、安心感（じまんたい）という施設です。清流川を干った三名市伊集というところがあります。イラストやメッセージをいっしょうけんめい書いていただき、ありがとうございました。今施設にぜひお話を聞いて、みんなに見てもらおうようにしています。応援のひとことだけでも心強いです。
みなさんも、友だちと勉強したかったたくさんの行事が中止になったり、えんきになったりして、ごんねんに思うこともあるかと思いますが、いまは、みんなで協力し合って、みんなで元気にすごしていきたいですね。
本当にありがとうございました。 関心者職員一同

台風が過ぎた後に子どもが学校に来て掃除をしている写真があったが、とても素晴らしいことで、こういう子どもたちが育っている。これが南関町だと思う。



3年間の新型コロナ化でもいろいろな取り組みをしておられる。たとえば、子どもたちが高齢者の方にハガキを書いて返事が来る。また、医療従事者を励ます取り組みなど、子どもたちの努力の一步があったからこそ地域からも113%の地域住民の参加をいただいている。

学校のホームページにも活動の紹介があるが、学校支援活動とは子どもたちが地域の方から大切にされたという思いを持つことであり一番大事なことである。地域学習を通して地域のことをた

現在

令和6年度 子供たちの確かな育ち

- 学校支援活動（地域の方から大切にされた経験）の充実
- 地域学習（地域を知る喜びの経験）の充実
- 地域貢献活動（地域の人を大切にしたい経験）の充実

子どもの数も減ってきているが、子どもたちは必ず自分が住む拠点地の選択の一つに南関町を考えるはずである。大きくなって世界で活躍するもよし南関町に帰ってきて活躍するもよし、南関で活躍するといった選択肢が間違いなく育っている。

アクションプラン④の熟議に校長先生方も出席されて熱心に話し合いをされておられる。活動する中では共通理解がとても重要であり、ゴールを目指して未来に生きる力を育んでほしい。

子ども基本法ができて子どもたちの意見を聞くことや、子どもたちは地域のことを観察する権利があるといことを大事にし、子どもをお客さんにせずに活動してほしい。

1%の努力は 37.8 のプラスになるが、1%努力しないと 0.03 のマイナスになる。児童文学作家の椋鳩十の言葉に「山登りに似て努力の一步が人生の扉を開く」とあり、努力の一步が人生を切り開いていく。ぜひ南関の造り手を育ててほしい。

未来へ

1. 01の法則 $1.01^{365} = 37.8$ ↑

0.99の法則 $0.99^{365} = 0.03$ ↓

児童文学作家「椋鳩十の言葉から」
山登りに似て**努力の一步**が人生の扉を開く

「教育の町、南関」 創り手育成へ **努力の一步**